

# 令和5年 上半期

(令和5年1月～令和5年6月)

## 火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

# 火災の概況

## 1 火災発生状況

令和5年上半期（1月～6月）の岡崎市における火災概況は出火件数56件、火災による焼損面積は建物1,236㎡、損害額は1億893万7千円、火災による死者は1人、負傷者は6人であった。出火件数56件を火災種別ごとにみると、建物火災が30件（54%）と最も多く、以下その他の火災16件（29%）、車両火災9件（16%）の順となっている。（第1表）

【上半期の火災発生状況表】

（第1表）

区 分 種 別		令和5年	令和4年	比 較	過去10年平均	比 較
		(A)	(B)	(A)－(B)	(C)	(A)－(C)
出火件数（件）		56	37	19	59	△ 3
火 災 種 別	建物火災	30	21	9	30	0
	林野火災	1	0	1	3	△ 2
	車両火災	9	7	2	7	2
	その他の火災	16	9	7	19	△ 3
焼 損 面 積	建物(㎡)	1,236	316	920	1,107	129
	林野(a)	5	0	5	17	△ 12
損 害 額（千 円）		108,937	19,206	89,731	114,333	△ 5,396
死 傷 者 (人)	死 者	1	1	0	2	△ 1
	負 傷 者	6	3	3	9	△ 3

備考 △印は減を示す。

## 2 損害額

火災による損害額1億893万7千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の1億466万6千円で全損害の96%を占め、以下その他の損害の220万3千円、車両損害の206万7千円の順となっている。（第2表）

損害額1億893万7千円は、前年の1,920万6千円と比較すると8,973万1千円の増加であり、過去10年平均の1億1,433万3千円より539万6千円下回っている。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

種別	区分	損害額	
		(千円)	比率(%)
建物		104,666	96.1
林野		1	0.0
車両		2,067	1.9
その他		2,203	2.0
合計		108,937	100.0

## 3 出火原因

出火件数56件の主な出火原因をみると、「たき火」が7件（13%）と最も多く以下「放火・放火の疑い」が6件（10%）、「たばこ」が5件（9%）、「こんろ」が3件（5%）の順となっており、これらで全体の約4割を占めている。

（第3表）

【主な出火原因別件数】 (第3表)

種別	区分	令和5年	令和4年	比較
		(件)	(件)	
放火・放火の疑い		6	6	0
たき火		7	1	6
たばこ		5	3	2
こんろ		3	4	△1
火あそび		1	2	△1
電気機器		1	1	0
ストーブ		2	0	2
その他		31	20	11
合計		56	37	19

備考 △印は減を示す。

# 救急の概況

令和5年上半期（1月～6月）の救急出場件数は8,859件で、搬送人員は8,177人であった。

前年と比較すると出場件数で711件増加し、搬送人員では668人増加している。

内訳では、急病が全体の6割以上を占める6,000件（67.7%）、続いて一般負傷が1,263件（14.3%）、交通事故516件（5.8%）の順であり、増加したものは、急病425件、一般負傷149件、交通事故60件、運動競技32件、自然災害3件、加害3件、火災1件、その他53件で、減少したものは、労働災害11件、水難2件、自損行為2件であった。

過去10年間の平均と比較すると、交通事故は少なく、一般負傷や急病は多い。

（第1表）

【上半期の救急出場状況表】

（第1表）

区 分		令 和 5 年	令 和 4 年	比 較	過去10年平均	比 較
種 別		(A)	(B)	(A)－(B)	(C)	(A)－(C)
救急出場件数		8,859	8,148	711	7,783	1,076
搬送人員		8,177	7,509	668	7,180	997
種 別 内 訳	火 災	20	19	1	24	△ 4
	自 然 災 害	3	0	3	1	2
	水 難	2	4	△ 2	1	1
	交 通 事 故	516	456	60	577	△ 61
	労 働 災 害	73	84	△ 11	68	5
	運 動 競 技	52	20	32	39	13
	一 般 負 傷	1,263	1,114	149	1,006	257
	加 害	25	22	3	27	△ 2
	自 損 行 為	93	95	△ 2	88	6
	急 病	6,000	5,575	425	5,236	764
	そ の 他	812	759	53	718	94

備考 △印は、減を示す。

## 月別救急出場・搬送人員状況

上半期の月別救急出場件数は、1月が1,721件と最も多く、4月が1,385件と最も少なかった。

(第2表)

1か月の平均は1,477件で、1日平均48.9件となっており、29.4分に1件の割合で出場したことになる。

上半期の搬送人員では、1月が1,561人と最も多く、2月が1,274人と最も少なかった。

(第3表)

1か月の平均は1,363人で、1日平均45.2人となっており、上半期で市民47人に1人が救急搬送されたことになる。

【上半期の月別救急出場件数】

(第2表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	6			77	11	4	256	3	21	1,161	151			31	1,721
2月				74	10	6	213	2	18	947	106			14	1,390
3月	1			91	13	7	215	2	14	942	114			14	1,413
4月	7		1	106	12	12	190	8	14	921	100			14	1,385
5月	4		1	84	11	11	187	5	12	970	120			22	1,427
6月	2	3		84	16	12	202	5	14	1,059	105			21	1,523
合計	20	3	2	516	73	52	1,263	25	93	6,000	696	0	0	116	8,859

【上半期の月別搬送人員状況表】

(第3表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	1			65	11	4	242	3	19	1,065	151				1,561
2月				73	10	5	196	2	14	868	106				1,274
3月				87	12	7	202	1	10	866	114				1,299
4月	3		1	103	12	12	184	7	10	860	100				1,292
5月				81	10	10	172	4	9	926	120				1,332
6月	1			76	15	11	189	5	13	1,004	105				1,419
合計	5	0	1	485	70	49	1,185	22	75	5,589	696	0	0	0	8,177

## 救助の概況

令和5年上半期（1～6月）の救助出動件数は144件で、救助人員は81人、事故種別で見るとその他の事故が最も多く55件、以下建物等による事故、交通事故、風水害等自然災害事故、水難事故の順となっている。

前年と比較すると、出動件数は6件の増加、救助人員は21人の増加であった。

（第1表）

【上半期の救助出動状況表】

（第1表）

種別		比較		
		令和5年 (A)	令和4年 (B)	比較 (A)－(B)
救助出動件数		144	138	6
救助人員		81	60	21
種別	火建物	1	2	△1
	災建物以外	1		1
	交通事故	25	20	5
	水難事故	4	6	△2
	風水害等自然災害事故	9		9
	機械による事故	1	3	△2
	建物等による事故	47	50	△3
	ガス及び酸欠事故	1	1	
	破裂事故			
	訳	その他の事故	55	56

備考 △印は減を示す。